

常日頃、格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

3月11日に発生しました東日本大震災により被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

震災以降、東京電力福島第一原子力発電所の事故などにより、電気事業、とりわけ原子力に対する信頼が大きく揺らぎ、全国的に定期検査中の原子力プラントが再稼働できない状況が続いております。このため、今夏におきまして、お客さまにやむを得ず節電へのご協力をお願いいたしました。お客さまに大変なご不便とご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げますとともに、格別のご理解、ご協力を賜りましたおかげで、需給の安定を図ることができましたことに、心から御礼を申し上げます。

さて、当社グループは、今冬の電力の安定供給に向けて、供給力の確保に最大限の努力を尽くしてまいりました。しかしながら、未だ停止中の原子力プラントの再稼働時期が見通せない中、電力需給状況は大変厳しくなることが見込まれるため、今冬につきましても、節電へのご協力をお願いするに至りました。お客さまに、今夏に引き続きご不便、ご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

このように、当社グループをめぐる状況は厳しさを増しておりますが、社会のライフラインを預かる責任の重大性を

改めて肝に銘じ、原子力の安全確保や停止中プラントの再稼働に向けた対応などに万全を期すことはもとより、電気の安全・安定供給に全力を尽くし、社会のみなさまからの信頼回復に努めてまいります。

とりわけ、「原子力の安全確保」につきましては、日々の確実な設備の運用・保全に努めるとともに、今回の事故を受けた、地震、津波に対する安全確保対策を速やかに、かつ、徹底的に実施してまいります。また、こうした取組みにつきましても、株主・投資家のみなさまやお客さま、地域の皆さまのご理解を賜るため、情報を適宜、的確にご提供してまいります。そのうえで、当社グループは、中長期を見据え、グループの持続的成長に向けた取組みも進めてまいります。

具体的には、「関西電力グループ長期成長戦略2030」に掲げる「ありたい姿」を目指し、CSRを軸に、「安全最優先の組織風土の醸成」、「成長へつながる事業基盤の充実・強化」、「グループ総合力によるお客さまと社会のお役に立つ価値の創造」の3つを柱としたアクションプランの実現に向け、グループ一体となって、たゆまぬ努力と挑戦を続けてまいります。

このように、当社グループは、「信頼の回復」と「長期成長」に向け、グループの総力を結集して取り組んでまいりますので、株主・投資家のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長

森 詳 介



取締役社長

八 木 誠

